

# 現状の主な次世代育成支援施策に関する費用負担と考え方 【別紙2】 (平成19年度予算ベース)

**現行の児童・家族  
関係社会支出**

**4.3兆円**  
(利用者負担分を除く)



制度区分・給付サービス名・給付額	費用負担
<b>育児休業給付</b> <span style="background-color: #f4a460; padding: 2px;">1,800億円</span>	<p>【国1/8、 保険料(労使折半)7/8】 ※ただし、当分の間、国庫負担の額は本来の額の55%(暫定措置)</p>
<b>保育所</b> <span style="background-color: #f4a460; padding: 2px;">9,900億円</span> (含病児・病後児)	<p><b>公立</b> 【市10/10】      <b>私立</b> 【国1/2、県1/4、市1/4】</p>
<b>児童手当</b> <span style="background-color: #f4a460; padding: 2px;">1兆500億円</span>	<p>被用者(3歳未満)      被用者(3歳以上)</p> <p>                      【国・県・市各1/10、事業主7/10】      【国・県・市各1/3】                 </p> <p>公務員      非被用者(自営等)</p> <p>                      【所属庁10/10】      【国・県・市各1/3】                 </p>
<b>児童育成事業</b> (放課後児童クラブ・一時預かり・地域子育て支援拠点等) <span style="background-color: #f4a460; padding: 2px;">600億円</span>	<p>【事業主1/3、県1/3、市1/3】</p>
<b>次世代育成支援対策交付金(延長保育・全戸訪問事業・ファミリーサポートセンター事業等)</b> <span style="background-color: #f4a460; padding: 2px;">700億円</span>	<p>【国1/2、市1/2】</p>
<b>児童入所施設など(児童養護施設、児童自立支援施設、里親など)</b> <span style="background-color: #f4a460; padding: 2px;">1,500億円</span>	<p>【国1/2、県1/2】</p>

※便宜上、都道府県は「県」と、市町村は「市」と表記

